

投光器 学習版

国労東海貨物協議会
2013年3月25日 No.30
発行責任者 鈴木 和巳

貨物労働者の期待と気持ちを無視した14年連続のベア・ゼロ回答！
労働者の生活苦は更に進み仕事へのモチベーションは低下する一方！

今回の「勤労情報」には大きな間違いがある！

貨物会社は15日の夜に「勤労情報」で「定期昇給のみ実施、55歳以上は1500円の上積み」の回答を各組合に提示したとしていますが、内情はそうではありません！各組合に待機をかける中で、15日当日は貨物労とのみ交渉を実施し、中々回答を行わない状況に対し問い合わせをするものの、状況説明もなく19時を過ぎる事態となりました。



以前から一時金や春闘交渉において、貨物会社には複数組合が存在しているにも関わらず貨物労との交渉を夜遅くまで続け、貨物労の妥結を持って各組合に提示してきた経緯に対し、国労は会社との折衝で常識的な範疇で取り扱うよう約束をしてきました。その約束を反故にした会社の姿勢は許せません。最終的に国労は18日に会社から回答を受け、不満だらけの回答に対し「持ち帰り検討」の立場をとり抗議行動を行っています。

貨物会社に働く誰もが賃金に対して不満を持っています。貨物労組がどのような交渉をしているのか解かりませんが、会社回答を一旦持ち帰り、多くの意見を聞く中で妥結するかを判断することが適当だと考えますがどうですか？幹部請負主義・労使癒着の組合では労働者の意見は中々通りませんよ！貨物労組の組合員よ目を覚ませ！

鳴り物入りのダイヤ改正ですが「春の嵐」に翻弄されまくり！

白紙と言われたダイヤ改正が16日にスタートしました。移り変わりは概ね順調のようでしたが18日からの強風により全国各地で列車運行に影響が出ています。



駅などでは新しい作業ダイヤを理解する暇もなく異常時の対応をとることとなり、作業者にとっては慣れない作業の中で列車の遅れを最小限にするため非常に厳しい状況でした。列車の遅れは乗務員をはじめ駅作業員の気持ちに大きな負担を押し付けます。

関西では機関車同士があわや正面衝突しそうになったとニュースでも流れていました。このような事故が起こるとダイヤ改正に際し、説明や教育が各現場でしっかり行われたかどうか検証することも必要です。安全は皆の願いでもあり、我々労働者は常に気を付けなければなりません。そのためにも会社は教育や作業環境の改善を行う必要があります。

新ダイヤに移行し日が浅いため、まだまだ問題点が見えてこないと思いますが、安全のためにもより良い作業ダイヤ、箱ダイヤにするようにしなければなりません。改正後の問題があれば要求を挙げて下さいね！



この投光器学習版は国労東海本部のホームページにも掲載されています。

国労東海本部のURLは <http://www.kokurotokai.com> です！